



細谷 美夫
(自民クラブ)

小中学校使用教科用図書採択協議会を公開すべき

問 27年4月に教科書採択の公正確保の徹底や、教科書採択に関する情報の積極的な公開について、国から通達があった。

①河内地区教科用図書採択協議会では、採択協議会の公開などの議論をしたのか。

②採択協議会や採択に関わる市教育委員会は、非公開の会議をいつまで続けていくのか。

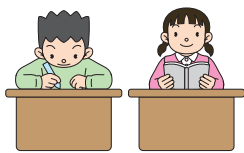
答 ①27年度に開催した河内採択地区の採択協議会で、協議や採決について公開とするか非公開とするかを議論した。

その結果、意思形成過程であることや、静かな環境で率直な意見交換を

行うため、会議の冒頭のみ公開とし、協議、採決ともに非公開としたが、新たに採択された理由や会議の概要を公表した。

②これまで、採択した教科用図書のほか、調査研究資料などを公表し、透明性の確保に努めてきたが、会議は、公正かつ適正に教科書を選定するため、静かな環境を確保することを重視し、協議と採決は非公開としてきた。

今後は、一層透明性を高めるため、静かな環境を確保した上で会議を公開している他自治体の方法などを参考にし、上三川町教育委員会との連携を図りながら、公開のあり方について検討していく。



その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（市長のLR工整備に向けた意思と決意）
- ②教育行政（スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言）

26年度決算審査

決算審査

（歳入）

質疑 保育費扶養者負担金の収入未済額が6,600万円余だが、滞納者数はどのくらいか。また

収納率向上のためどのような対策をしているのか。

説明 滞納者数は784名。滞納者に対しては、督促状の送付や職員による電話催告、徴収嘱託員

による夜間・休日の臨戸訪問を実施している。また滞納者からの申し出制により児童手当から保育料滞納分を徴収するなど、各家庭の状況に応じた適切な対応をすることにより、26年度の収納率が96.6%になるなど毎年上昇傾向にある。

要望 保育料の滞納は、不公平感が出るなど様々な問題が生じるため、現在実施している取り組みと併せて保育園で話し合いの場を設けるなど、引き続き、滞納者数を減少させる努力をしてほしい。

（歳出）

質疑 ろまんちっく村の指定管理料として2億4,800万円余を支出しているが、多目的ドームはどのようにに活用されているのか。

説明 施設内の展示ホールでさつき&花フェアなどが開催されるなど、土日を中心に年間95日間のイベントが開催されている。また、地域の農業に繋がる取り組みを始めており、今後とも、指定管理者と意見交換しながら施設を十分活用できるように取り組んでいく。

耐震化二次診断業務委託として、1,300万円余支出しているが、両施設の今後の耐震化工事の計画はどう考えているのか。

説明 26年度の耐震化診断の結果、両施設とも阪神・淡路大震災のような大規模地震に対する耐震性能は備えていないことが判明したことから、松田新田浄水場など最優先に耐震化を進める施設に次ぎ、重要施設と位置付け、順次、耐震化工事に取り組んでいきたい。

節容量の増加を図り、雨水を現在よりも多く貯留させる有効活用策に取り組んでおり、調整池の整備効果の検証結果をもとに今後の雨水幹線の整備に取り組んでいきたい。

（中央卸売市場事業会計）

質疑 市場機能の充実に向け、24年度に策定した中央卸売市場活性化ビジョンの取り組み状況はどうなっているのか。

説明 活性化ビジョン推進計画に基づき、現在、市場内の連携強化のための事業懇談会や、市長が直接生産地に向いての青果や水産の出荷者に対する出荷拡大要請活動などを実施し、集荷力・販売力の強化に取り組んでいる。

（下水道事業会計）

質疑 公共下水道基本設計業務委託で、平出工業団地内、産業通りの浸水被害対応策として、どのような工事を検討しているのか。

説明 平出工業団地では、ゲリラ豪雨や台風の際に道路冠水による通行止めなどが発生していることから、その被害を防ぐため、平出調整池の洪水調



▲ろまんちっく村多目的ドーム

企業会計決算審査

（水道事業会計）

質疑 白沢配水場配水池及び今市浄水場調整池

消費者に市場への理解を深めてもらうため、一般利用者向けに関連棟を開放し、来場者の増加に努めるなど、市場活性化の推進に取り組んでいる。